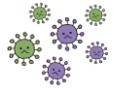


# ほけんだより

子ども健康部 幼児課 令和6年 3月号外

## 麻疹(はしか)の感染事例が報告されています



麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

### 発生状況



今般、海外において、麻疹の流行が報告されており、特にヨーロッパ地域における症例報告数は前年度の30倍以上に急増し、入院を要する重症例や死亡例も確認されています。

2023年の国内の発生状況として28例の届出がありました。海外からの輸入症例が契機と考えられる事例報告もあり、今後、輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念されています。

### 症状



感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する場合も、先進国であっても1000人に1人と言われています。



### 症状がある場合

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え、以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けましょう。

### ワクチンについて

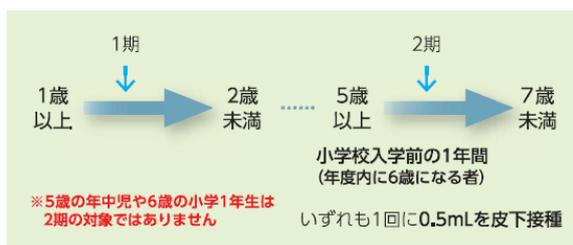
麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。

麻疹の予防接種が最も有効な予防法といえます。また、麻疹の患者さんに接触した場合、72時間以内に麻疹ワクチンの接種をすることで、麻疹の発症を予防できる可能性があります。

### ワクチンの定期接種



#### MR(麻疹・風しん混合)、麻疹、風しん



予防接種が済んでいるか  
ぼしてちょう かくにん  
母子手帳で確認してみてください

参考

厚生労働省ホームページ:麻疹について

国立感染症研究所:麻疹の発生に関するリスクアセスメント